

建築と まちづくりを 考える

全3回
参加無料
要申込

第1回

終了しました

蓑原 敬 氏

都市プランナー

2018年7月27日(金)19:00-21:00
金沢市アートホール／定員250名

第2回

辻 慎吾 氏

森ビル代表取締役社長

2018年11月30日(金)19:00-21:00
金沢市文化ホール／定員800名

第3回

榎 文彦 氏

建築家

2019年1月25日(金)19:00-21:00
金沢市文化ホール／定員800名

プログラムは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

各回の内容

第1部：基調講演

第2部：パネルディスカッション

◆松隈洋氏：コーディネーター

◆各回の基調講演者

◆谷口吉生氏

◆ほか各回のテーマに沿った方をお招きします

*申込締切は、各開催日の2週間前になります。申込多数の場合は先着順。

主催 | 金沢市

[企画調整課]

[お問い合わせ・申込受付窓口]

[平日10:00-17:00]

(株)ホクスイ内 (株)オトムラ「金沢・建築文化会議」受付係

TEL 076-268-3737

FAX 076-268-0212

● 基調講演者プロフィール ●



荻原 敬 都市プランナー

1933年、東京生まれ、福岡育ち。1958年東京大学教養学科アメリカ科卒。1960年日本大学理工学部建築科卒、同年建設省入省。茨城県住宅課長、都市計画課長、建設省住宅局住宅建設課長。1989年荻原計画事務所設立今に至る。銀座街づくり会議、十津川村アドバイザー。都市計画学会石川賞。

著書：「間にある都市の思想」(水曜社2017)トマス・ジーバーツ、荻原敬監訳、「まちづくりの哲学」(ミネルヴァ書房2016)代官山を愛する会、荻原敬、宮台真司、「これからの日本に都市計画は必要ですか」(学芸出版社2014)荻原敬、中島直人他共著、「大高正人の仕事」(エクスマレッジ社2014)荻原敬、中島直人、松隈洋。



辻 慎吾 森ビル株式会社 代表取締役社長

1960年広島生まれ。1985年横浜国立大学大学院工学研究科建築学専攻修了。同年森ビル株式会社入社。東京都心の大規模都市再開発事業を複数担当した後、六本木ヒルズにおいて地域の賑わいを生み出すタウンマネジメントの手法を生み出す。2006年取締役、2008年常務取締役、2009年副社長を歴任し、2011年6月より現職。信条は「オープンマインド」。既成概念にとらわれず人の意見に耳を傾けるという意味。



榎 文彦 建築家 (榎総合計画事務所)

1928年東京生まれ。東京大学工学部建築科卒。ハーバード大学デザイン学部修了。後に両学部にて教鞭をとる。

1965年、榎総合計画事務所設立。代表取締役として今日に至る。

主な作品：スパイラル(1985)、京都国立近代美術館(1986)、幕張メッセ(1989)、ヒルサイドテラス(1969～92)、MITメディアラボ(2009)ほか
日本芸術院会員、文化功労者。

● パネラープロフィール ●



谷口 吉生

建築家

1937年東京生まれ。慶応義塾大学工学部機械工学科、ハーバード大学大学院建築科卒業後、東京大学都市工学科丹下研究室を経て、谷口建築設計研究所を主宰。
主な作品は、金沢市立図書館、東京都葛西臨海水園、豊田市美術館、東京国立博物館法隆寺宝物館、ニューヨーク近代美術館、鈴木大拙館、京都国立博物館平成知新館など。



コーディネーター

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年京都工芸繊維大学助教授。2008年同教授、現在に至る。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。著書に『建築の前夜 前川國男論』『ル・コルビュジェから遠く離れて』『モダニズム建築紀行』など。前川國男、A・レーモンド、坂倉準三、白井晟一、丹下健三、村野藤吾、谷口吉郎・谷口吉生、大高正人など、多くの建築展の企画に携わる。文化庁国立近現代建築資料館運営委員。

その他、各回地元からテーマに沿った方をパネラーにお迎えします。

[申込先]

(株)ホクスイ内 (株)オトムラ

①FAX

076-268-0212

「金沢・建築文化会議」受付係

②Eメール

kentiku_kanazawa@otomura.co.jp

申込書

* 複数人分をお申し込みの場合は、代表の方の情報を記入下さい。

氏名 (ふりがな)	
企業名・団体名	
住所	〒
電話番号 メールアドレス	
参加希望回 (参加希望人数)	第2回 ()人 第3回 ()人

お申込みは
こちらからが
便利です

